

桐生商工会議所管内
景況調査報告書
第142回

(2023年7～9月期)

令和5年11月
桐生商工会議所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 2023年9月1日
3. 調査期間 2023年7～9月期
4. 調査対象企業数380企業（うち回答企業数139企業）
5. 調査対象業種
 - ①建設業（回答企業数19企業）
建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他
 - ②商業・サービス業（回答企業数62企業）
卸売業、小売業、飲食業、サービス業
 - ③製造業
機械金属関連業（回答企業数29企業）
鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数29企業）
燃糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DIとは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、このDIの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。このDIは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で－6。前期（－10）比は＋4ポイントとなった。また前年同期（－18）比では＋12ポイントとなった。

業種別では、**建設業＋5**（前期比＋9、前年同期比＋27）、**商業・サービス業－18**（前期比－1、前年同期比＋11）、**機械金属製造業±0**（前期比＋11、前年同期比＋7）、**繊維製造業＋7**（前期比＋7、前年同期比＋11）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で－12。前期（－20）比は＋8ポイント、前年同期（－23）では＋11ポイントとなった。

業種別では、**建設業－21**（前期比＋7、前年同期比－3）、**商業・サービス業－23**（前期比－1、前年同期比＋12）、**機械金属製造業＋5**（前期比＋16、前年同期比＋19）、**繊維製造業＋3**（前期比＋21、前年同期比＋18）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で－11。前期（－7）比では－4ポイント、前年同期（－25）比では＋14ポイントとなった。

業種別では**建設業±0**（前期比＋13、前年同期比＋33）、**商業・サービス業－18**（前期比－5、前年同期比＋16）、**機械金属製造業－10**（前期比－15、前年同期比－1）、**繊維製造業±0**（前期比－5、前年同期比＋14）となっている。

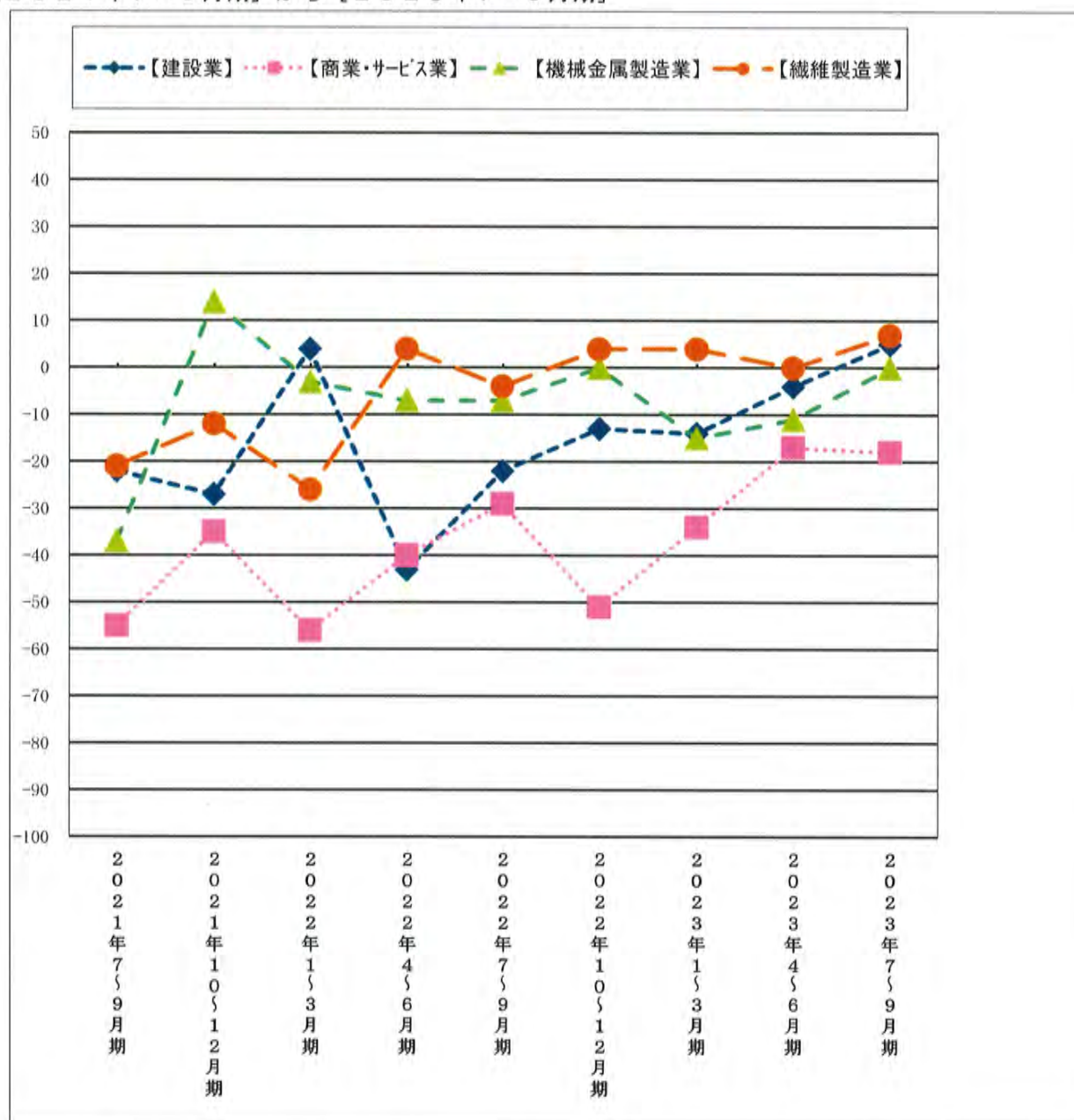
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「材料価格の上昇」（23.4%）「熟練技術者の確保難」（14.9%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（14.9%）「需要の停滞」（11.3%）、**機械金属製造業**では「従業員の確保難」（19.2%）「需要の停滞」（15.4%）、**繊維製造業**では「原材料価格の上昇」（18.7%）「需要の停滞」（14.7%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2021年7～9月期	-22	-55	-37	-21
2021年10～12月期	-27	-35	14	-12
2022年1～3月期	4	-56	-3	-26
2022年4～6月期	-43	-40	-7	4
2022年7～9月期	-22	-29	-7	-4
2022年10～12月期	-13	-51	0	4
2023年1～3月期	-14	-34	-15	4
2023年4～6月期	-4	-17	-11	0
2023年7～9月期	5	-18	0	7

[2021年7～9月期] から [2023年7～9月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

●今期業況

今期の業況DIは+5。前期比は+9、前年同期比では+27ポイントとなった。

業種別では**建築・大工業**[-17]、**土木業**[+33]、**管工事業**[±0]、**鉄骨・鉄筋業**[±0]、**電気工事業**[+60]、**その他**[-50]ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは±0。前期比+13、前年同期比では+33ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

●今期業況

今期の業況DIは-18。前期比は-1、前年同期比では+11ポイントとなった。

業種別では、**卸売業**[+50]、**小売業**[-33]、**飲食業**[+18]、**サービス業**では[-24]ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは-18。前期比-5、前年同期比では+16ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

●今期業況

今期の業況DIは±0。前期比では+11、前年同期比では+7ポイントとなった。

業種別では、**鉄鋼業**[-33]、**非鉄金属業**[±0]、**金属製品業**[+33]、**一般機械器具業**[-100]、**電気機械器具業**[-100]、**輸送用機械器具業**[+20]、**精密機械器具業**[±0]、**プラスチック製造業**[+40]、**その他**[±0]ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは-10。前期比-15、前年同期比-1ポイントとなっている。

【繊維製造業】

●今期業況

今期の業況DIは+7。前期比では+7、前年同期比では+11ポイントとなった。

業種別では、**織物業**[+8]、**染色整理業**[+50]、**ニット・メリヤス業**[-100]、**レース業**[-50]、**縫製業**[+100]、**刺繍業**[+20]ポイントとなった。

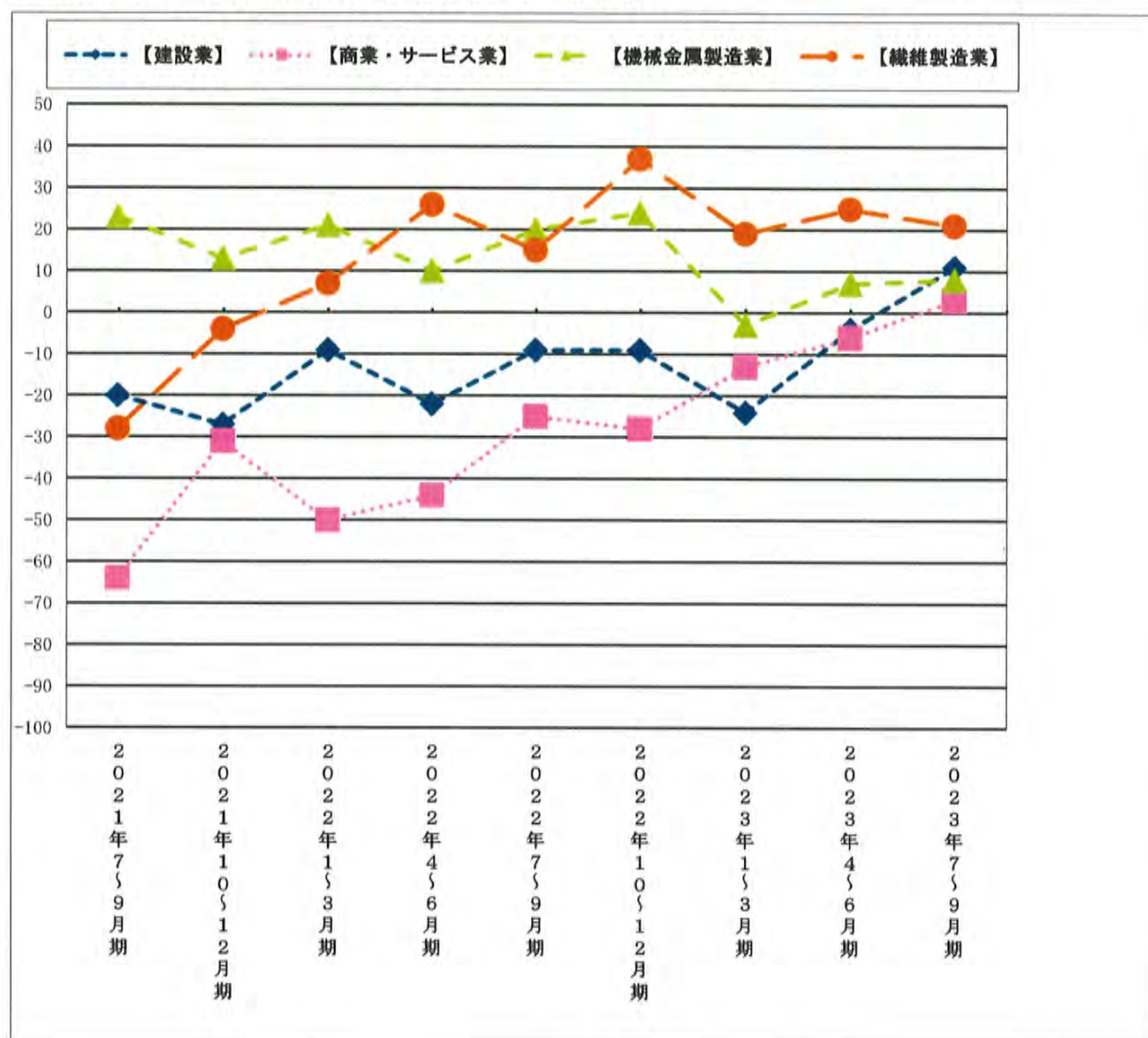
●来期業況

来期業況予測のDIは±0。前期比-5、前年同期比では+14ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

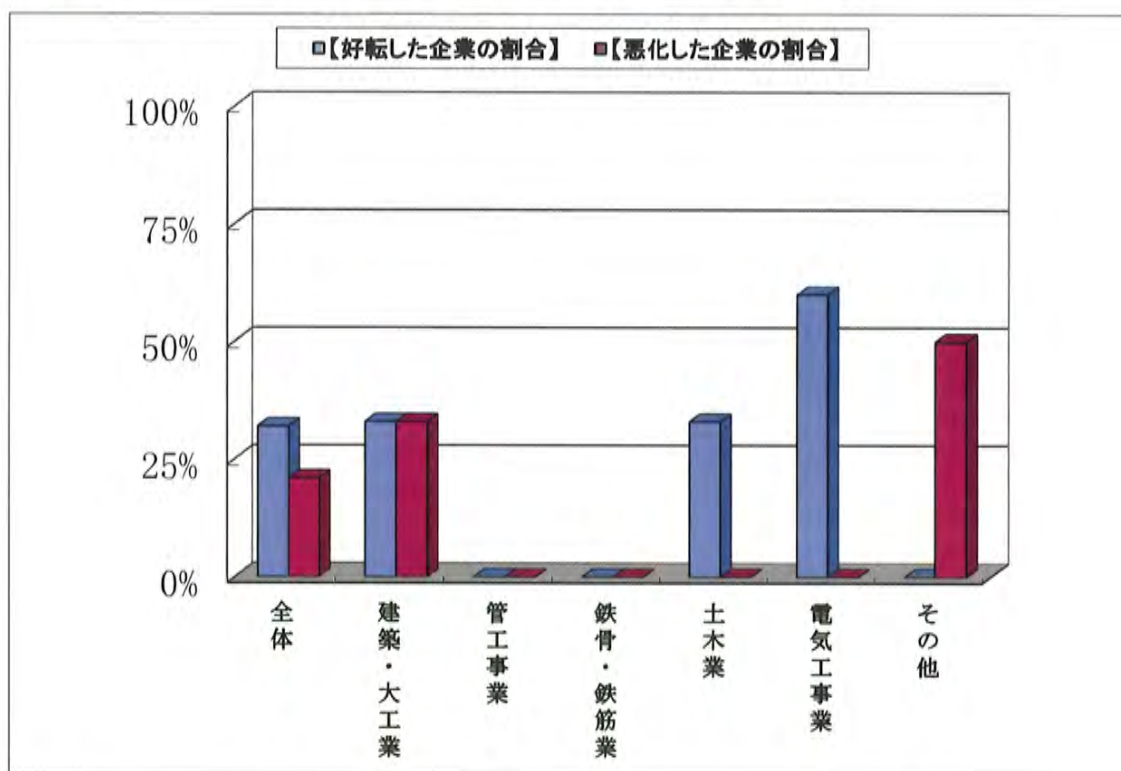
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2021年7～9月期	-20	-64	23	-28
2021年10～12月期	-27	-31	13	-4
2022年1～3月期	-9	-50	21	7
2022年4～6月期	-22	-44	10	26
2022年7～9月期	-9	-25	20	15
2022年10～12月期	-9	-28	24	37
2023年1～3月期	-24	-13	-3	19
2023年4～6月期	-4	-6	7	25
2023年7～9月期	11	3	8	21

〔2021年7～9月期〕から〔2023年7～9月期〕

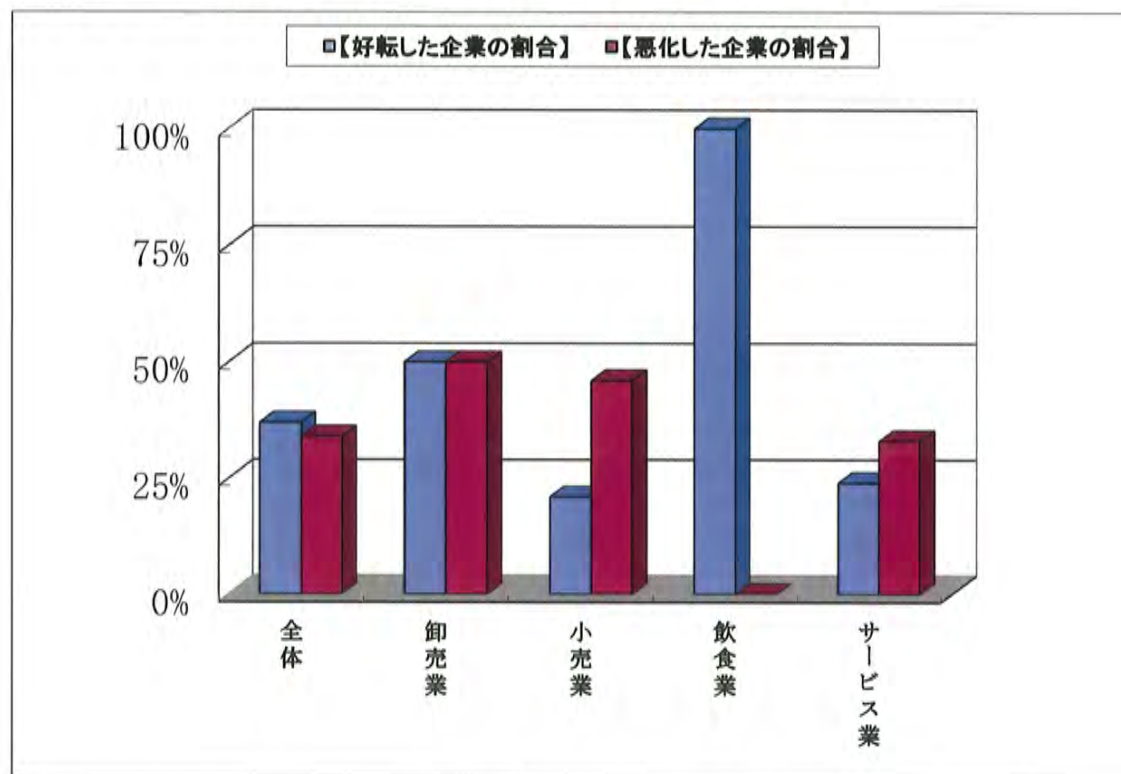


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

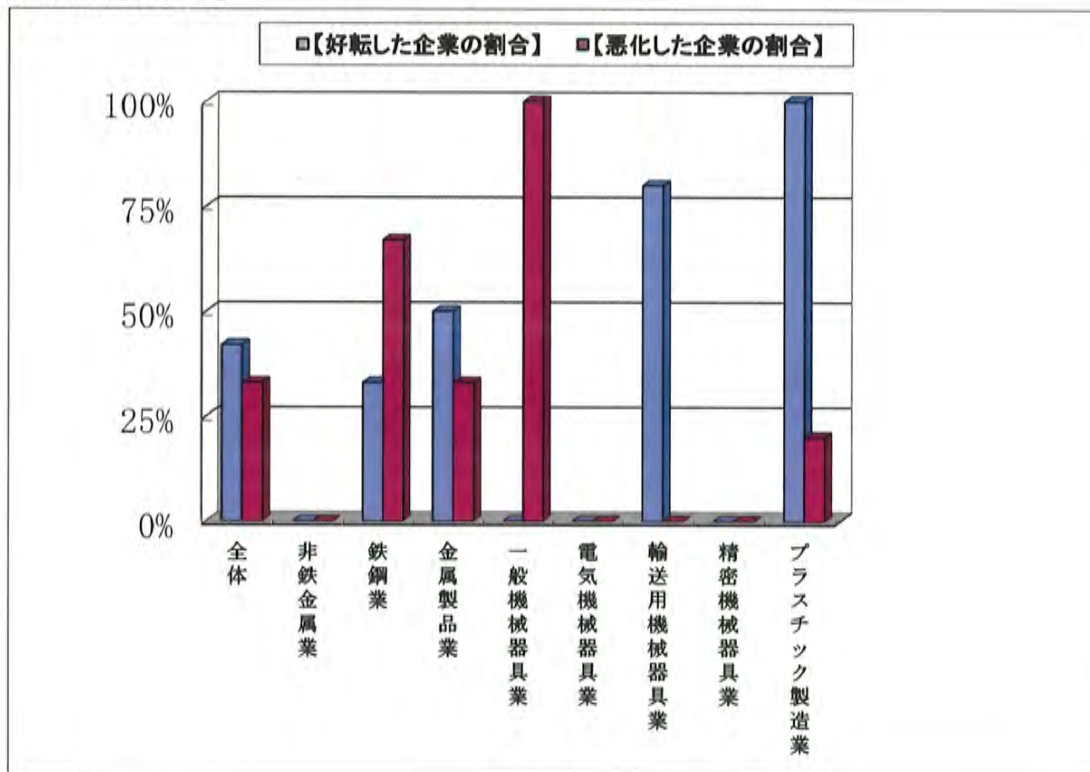
【建設業】



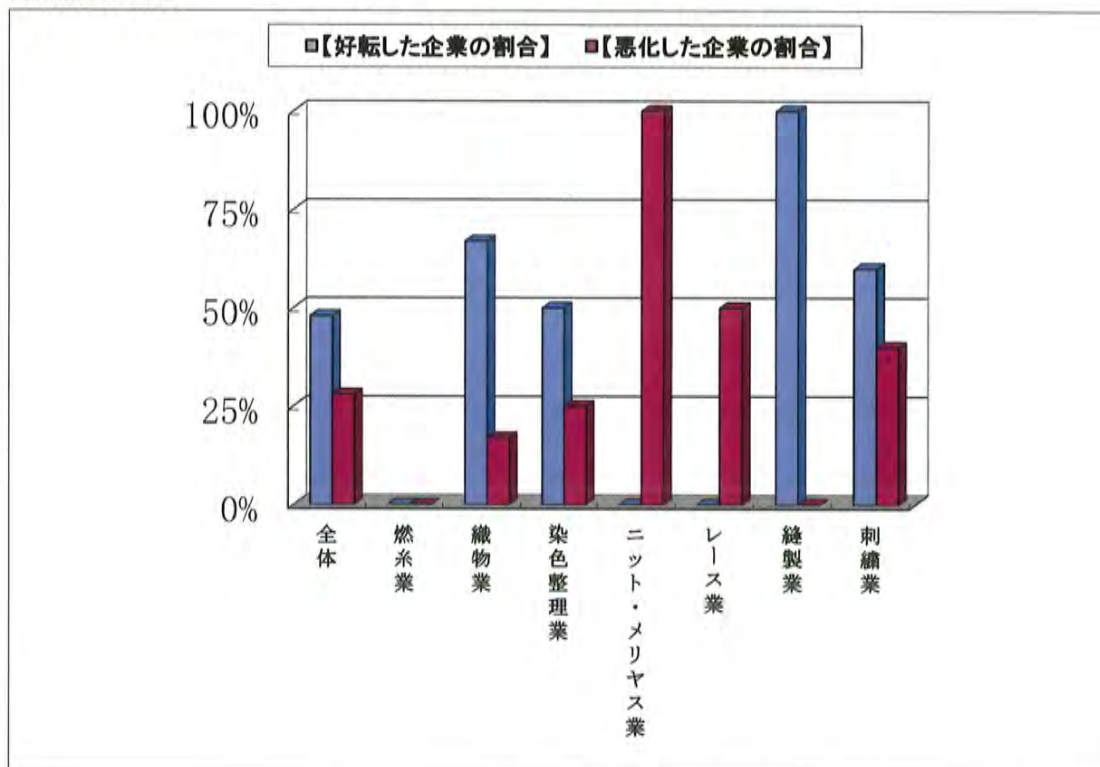
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



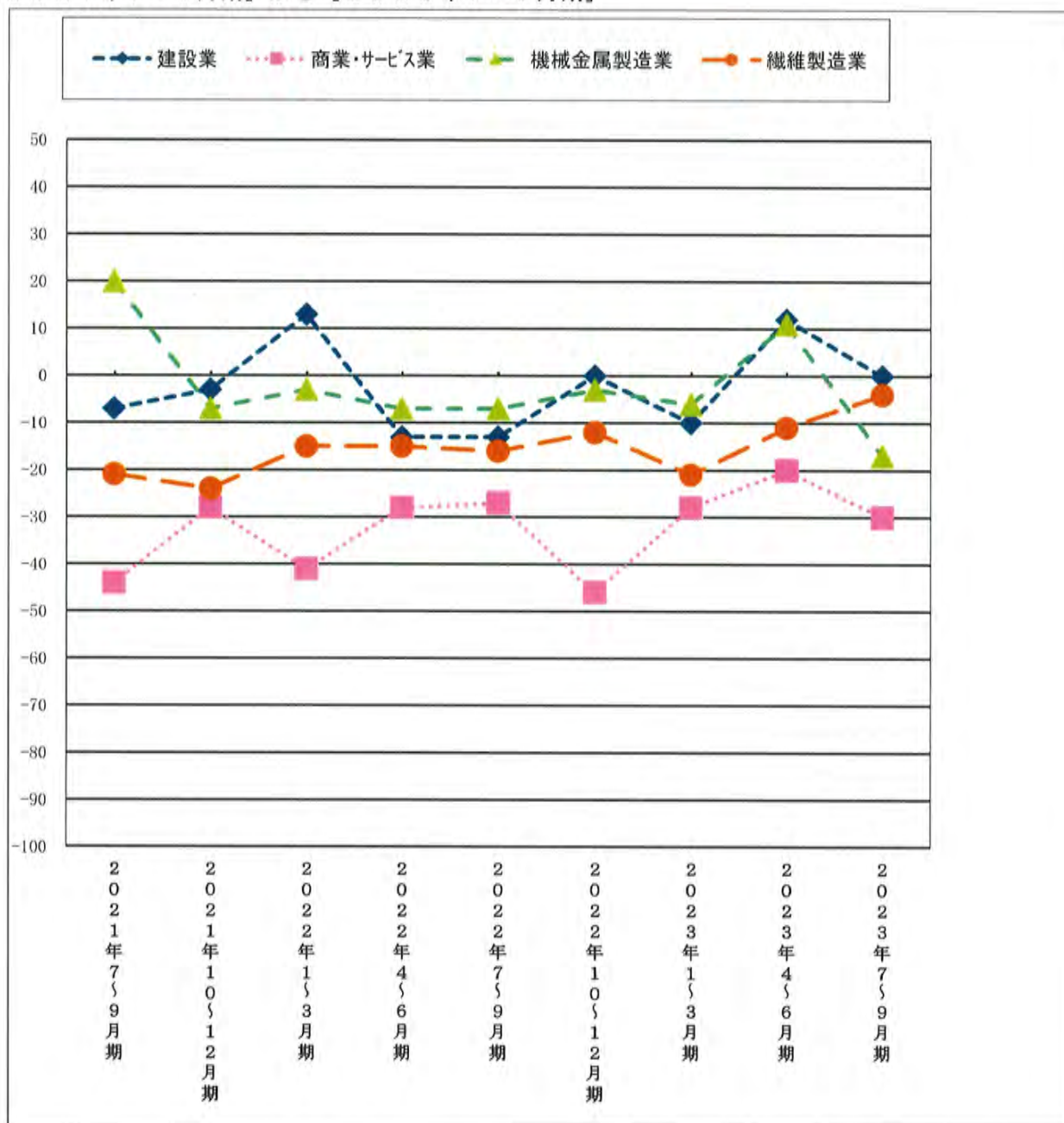
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
2021年7～9月期	-7	-44	20	-21
2021年10～12月期	-3	-28	-7	-24
2022年1～3月期	13	-41	-3	-15
2022年4～6月期	-13	-28	-7	-15
2022年7～9月期	-13	-27	-7	-16
2022年10～12月期	0	-46	-3	-12
2023年1～3月期	-10	-28	-6	-21
2023年4～6月期	12	-20	11	-11
2023年7～9月期	0	-30	-17	-4

[2021年7～9月期] から [2023年7～9月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	材料価格の上昇 23.4	熟練技術者の確保難 14.9	民間需要の停滞 12.8	従業員の確保難 10.6	下請単価の上昇 8.5
前期	1位 21.4	3位 10.0	8位 5.7	2位 15.7	5位 8.6
前年同期	1位 25.0	5位 7.1	4位 10.7	2位 16.1	7位 3.6
商業・サービス業	材料等仕入単価の上昇 14.9	需要の停滞 11.3	人件費以外の経費の増加 11.3	消費者ニーズの変化への対応 10.1	人件費の増加 10.1
前期	1位 19.2	2位 12.2	4位 9.3	2位 12.2	6位 7.6
前年同期	1位 15.6	1位 15.6	7位 5.2	3位 13.3	4位 10.4
機械金属製造業	従業員の確保難 19.2	需要の停滞 15.4	原材料価格の上昇 9.0	原材料費・人件費以外の経費の増加 9.0	人件費の増加 9.0
前期	3位 13.8	5位 11.3	1位 17.5	2位 16.3	8位 6.3
前年同期	4位 10.1	6位 7.6	1位 20.3	2位 12.7	9位 5.1
繊維工業製造業	原材料価格の上昇 18.7	需要の停滞 14.7	原材料費・人件費以外の経費の増加 9.3	製品単価の低下・上昇難 9.3	従業員の確保難 9.3
前期	1位 21.8	2位 16.7	3位 11.5	4位 11.5	5位 9.0
前年同期	1位 25.0	2位 23.5	4位 7.4	6位 5.9	7位 4.4

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- ・コロナウイルス感染症の感染は完全に収束した訳ではない。円安の間接的悪影響を受けている。来年4月からの働き方改革の一環でもある労働時間上限規制にも対処しなければならない。問題は山積していて飽きることはない。設備投資は活発とは言えないが、力のある企業は実行計画を立てているので工事受注に努めていきたい。建設業は受注工事が多いからと言って必ず利益が増えるというものではない。
- ・休日の仕事が多いため、なかなか休みがとれない。建築でも週休2日制度を取り入れるべき。

〔商業・サービス業〕

- ・材料費の上昇が続いているが、商品の値上げがタイムリーに行えない。
- ・入荷が遅延していた部品、商品が2022年後半から大量入荷し、市場に在庫が潤沢にあるため、値引き競争が起こっている。
- ・仕入価格の上昇、電気代の値上げなどで売上が増加しても苦しい状況。今後いかに価格転嫁できるかがポイントとなる。
- ・主流になりつつある家族葬の対応・対策に苦慮しつつ、一般葬の取り込みを展開中。
- ・コロナ5類になっても客数は増えない。特に高齢者は減少している。
- ・老舗の商店が少しずつ閉店しており、商店街としては厳しい状況が続いている。物価高騰で需要が停滞している。小売業が新型コロナ4年目で状況はまだ改善していない。
- ・地域の高齢化、人口減少。

〔機械金属関連業〕

- ・客先のほとんどが大企業で経営状態と仕事量は安定しているが、材料費の値上がり分や電気代の一部は認めていただいているが、当社以下の社員の給与を上げる単価変更はない。
- ・事業縮小をおこなっているため、全体的に減少している。

〔繊維工業〕

- ・長期にわたって不景気が続く中、取引先の信用不安等が心配。
- ・原材料価格の上昇と不足、産地内の熟練技術者の確保が難しい時代に入ってきた。
- ・忙しすぎて整理整頓や現場の事務の連携、またはその流れを作ることが難しい。